

新たなコミュニティのかたち「**住み開き**」

**はるくんみやちゃんホーム**

地域活動を応援する

**地域のわ通信**

R4年10月  
NO.80

“住み開き”という言葉をご存じでしょうか？「住む」家を「開く」、つまり住宅の一部を開放するという意味の造語です。菅田地区にある「はるくんみやちゃんホーム（以下、はるみやホーム）」は、大人と子どもの誰もが自由に過ごせる場として“住み開き”をしている、地域の居場所です。



▲「はるみやホーム」の代表の平田ミヤ子さん（愛称、みやちゃん・写真前列左）と、運営に協力する仲間たち

▲「はるみやホーム」で住み開きしている1階のスペース

**その人の“あるがまま”を受け入れる  
「はるみやホーム」**

2階建て一軒屋の1階スペースを開放している「はるみやホーム」。大人や子どもたちが気兼ねなく過ごせるみんなの居場所として、2017年4月から菅田地区で開催しています。

はるくんは電車が大好きで、周りが気づかない変化や音を敏感に察知する個性を持つ小学6年生。みやちゃんは、はるくんの母親であり「はるみやホーム」の代表です。横浜市の特別支援教育支援員講座を修了し、生きづらさを抱える人のサポートを得意としています。みやちゃんに想いを伺いました。

「人にはそれぞれギフトという個性があると思いますが、それが世の中の枠に収まり切れず、生きづらさにつながっている大人や子どもがいます。誰もがあるがままの自分を受け入れられ、落ち着いた気持ちで過ごせる場をつくりたい！ルールに縛られず自由に楽しんでもらえるように“住み開き”の形を選びました」（みやちゃん）

「welcome!」を演出している  
エントランス♪





## ■来る人に安心安全な場を提供したくて



絵本に出てくる世界を  
実体験することで、子  
どものやりたい気持ち  
を応援しています。

紙芝居屋「ふろん茶」さ  
んの語りは九州弁。子  
どもの想像力を引き出す紙  
芝居は笑いがいっぱい！

「はるみやホーム」は毎週金曜日（12時～17時）に開いています。月に一回はイベントの日があり、9月は「絵本＆紙芝居」でした。絵本「かみひこうき」を読み聞かせ、実際に紙飛行機を作り飛ばす体験をしたり、想像力を育むような紙芝居を楽しんだり、20名ほどの参加者は遊び心あふれるイベントに笑い声をあげていました。

「はるみやホーム」の特徴は、サポーターのほとんどが地域外の人ということです。幼稚園教諭や心理カウンセラーなど専門的な知識や経験を持つ人が多いです。

「心の奥にある不安や心配事は、同じ幼稚園や小学校のママたちには話づらいものです。今の気持ちを思ったまま表現し、相談できる安心安全な場にしたいと、サポーターの多くは地域外の方たちをお願いしています。ここに关わる人が多様だと、来る人の視野も広がり、自分では気づけない意見に触れる機会にもつながると思っています」（みやちゃん）



「はるみやホーム」では大人も子どもも、自分の気持ちを大切に過ごしてもらっています。地域の方から区外の方まで、多様な方が訪問されています。（みやちゃん）

## ■“住み開き”だからできること

来訪者はSNS や口コミで広がり、地域の方はもちろん、区内全域をはじめ東京からも来ています。「主には親子での参加ですが、大人だけで来る人もいます。日常で自分のことをうまく表現できずモヤモヤした気持ちを抱える人が来てくれています」（みやちゃん）毎週のように通う、不登校児を持つ母親は「ここは自分の家のように自由に過ごせるのが嬉しい」と、笑顔で話します。

“住み開き”をするには、家の中にあるスペースの確保と、家族やご近所の理解が必要だと言われています。菅田地区では「はるみやホーム」と「暮らしの保健室よこはま」（「地域のわ通信 Vol.59」掲載）が、自宅の一部を開放し、居場所を提供しています。

公共施設にはさまざまなルールがあるため、温かい雰囲気づくりは難しいところがあります。でも“住み開き”であれば、来訪者はありのままの自分が出しやすく、運営側にとっても自分のペースで他者とのつながりを持つことができるという利点があるようです。

新たなコミュニティの形“住み開き”が地域にどんな変化をもたらすのか、地域活動の可能性が広がっています。

Chikiryoku  
Up!

### 「はるくんみやちゃんホーム」の概要

活動概要	
開催日程	毎週金曜日12時～17時 ・個別対応あり。要相談
場所	菅田町1018-25（横浜市営バス36系統「小川橋」下車徒歩5分）
内容	「住み開き」の形で場を提供し、大人と子どもが自由に過ごせる居場所。出入り自由。月に一度イベント開催。
対象者・費用	どなたでも・無料
運営資金	令和3年度「子どもの居場所づくり活動支援補助金」 令和4年度「子どもゆめ基金」
連絡先	mail: <a href="mailto:harumiyahome@gmail.com">harumiyahome@gmail.com</a> 電話：090-8512-3666(平田)
ホームページ	<a href="https://lit.link/harumiyahome">https://lit.link/harumiyahome</a>